

やっとかめ大使

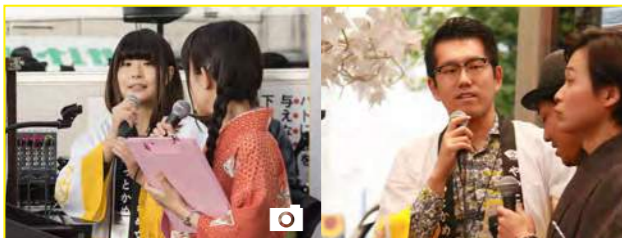


やっとかめ文化祭に欠かせない存在となってきた「やっとかめ大使」。今回も総勢66名の大使の皆さんが、文化祭を大いに活気づけ大活躍してくれました。“名古屋のまちが好き” “もっとオモシロくしたい” そんな名古屋愛に溢れた大使が、「やっとかめ文化祭」を誰よりも盛り上げ楽しみ、まちへの愛を深めました。

オープニング後に出演者でござい



「歴史まち歩き」で参加者を案内



司会サポート



やっとかめ大使ロゼットをみんなで手づくり



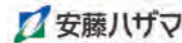
「歴史まち歩き」で地元ガイドさんの進行をサポート

撮影=越野龍彦

ご協賛いただきました皆様



一般財団法人 民族衣裳文化普及協会



株式会社大丸松坂屋百貨店 中部国際空港株式会社 株式会社名古屋銀行 一般財団法人名古屋城振興協会
 日本ガイシ株式会社 丸茂電機株式会社 株式会社エーアンドブイ 鹿島建設株式会社 公益社団法人日本観光振興協会中部支部
 八百彦本店 三精テクノロジーズ株式会社 ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社 カクダイ製菓株式会社
 株式会社かとう製菓 日進製菓株式会社 日邦製菓株式会社 名糖産業株式会社

名古屋観光ブランド協会の皆様

株式会社 青柳総本店 株式会社 安藤七宝店 株式会社 大須ういろ 呉竹商事株式会社 株式会社さんわコーポレーション 雀おどり總本店
 株式会社 千両 株式会社 ダイナゴン なごやしめけん亭 納屋橋饅頭万松庵 御菓子所 松河屋老舗 御菓子司 美濃忠 宮さしめん
 株式会社 妙香園 名古屋ういろの元祖 餅文総本店 名古屋名物みそかつ矢場とん 両口屋是清 おつけもの 若菜

やっとかめ文化祭実行委員会事務局

(公財)名古屋市文化振興事業団内 〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目18番1号ナディアパーク8階
 TEL052-249-9385 FAX052-249-9386

<http://www.yattokame.jp/> やっとかめ文化祭 検索 t f



2015 開催報告

時をめぐり、文化を旅する、まちの祭典。

やっとかめ文化祭

REPORT



<http://yattokame.jp>

YATTOKAME FESTIVAL

Travel in Time! Experience Culture!
 Nagoya City Festival!

2015.10.30^{FRI} - 11.23^{MON}



そして、旅はつづく。

今年で3回目を迎えた「やっとかめ文化祭」。
25日間にわたって、160にも上るプログラムを開催いたしました。
まちかどで出会う日本の芸能も、歴史ある寺社の佇まいも、
忘れられた路傍の記憶も、どれもが名古屋の大切な一部。
なにげない風景を、旅の舞台へと変えていきます。

「旅」は、回を重ねるにつれて、自然に浮かびあがってきた言葉です。
まちを歩き、カケラを拾い集め、遠くから響く声を聴く。
それは、このまちで新たに紡がれる物語のプロローグです。
きっと、旅はまだ始まったばかり。
とびきりの出会いをもとめて、これからも旅はつづきます。

Event Outline
開催概要

- 開催期間：平成27年10月30日(金)～11月23日(月・祝) 25日間
総参加者数：54,080人
総出演者数：1,280人
事業内容： **芸どころまちなか披露〈13プログラム53回〉**
- 辻狂言
 - ストリート歌舞伎「名古屋山三郎と出雲阿国～歌舞伎発祥由来絵巻～」
 - 街茶 MACHI-CHA
 - 香りと音で世界のまちを「旅」する～志野流香道コラボコンサート～
 - 箏曲、長唄・常磐津、正調名古屋甚句、津軽三味線、落語、講談、お座敷芸
 - お座敷ライブ
 - しゃちほこチャレンジプロジェクト
- 芸どころ名古屋舞台〈5事業13公演〉**
- 能楽堂に舞い唄う「恋は神代の昔から」
 - 青のゆらぎ ～LEDキャンドル能～
 - 乱歩からの招待状 ～江戸川乱歩没後50年・名勝「東山荘」に偲ぶ～
 - 受け継がれる語りの世界
 - ～名古屋で生まれた日本の楽器～大正琴で聴く日本の音色
- まちなか寺子屋〈32講座39回〉**
- 志野流香道 特別講座 聞香体験
 - 名古屋ごはんの美味しい食べ方指南 ほか
- 歴史まち歩き〈40コース48回〉**
- 東海道鳴海宿
 - 中村・大門
 - 下街道と山田荘 ほか
- やっとかめぐり など〈6プログラム7回〉**
- 旅人スタンプラリー
 - 和菓子でめぐる尾張名所図会 ほか

まるで 耳打ちするかのような 名古屋自慢が始まりました。

bouche à oreille(ブーシュ・ア・オレイユ)。口から耳へ、という意味のフランス語で、本当は内緒にしたい情報を特別に耳打ちする時に用いるそうです。3年目の「やっとかめ文化祭」は、bouche à oreilleな情報として語られ、体験され、広がっていきました。「歴史まち歩き」では、普段着のまちに潜む僅かな表情から、昔の風景を想像する旅を楽しみました。「まちなか寺子屋」は、時間軸で古代から近代まで、文化軸では芸能・工芸・食・音楽・文学と幅広く網羅しました。いずれも参加された方それぞれが、名古屋をちょっぴり自慢げに語り合う風景に出逢うことができました。

歴史まち歩き・まちなか寺子屋
担当ディレクター
近藤マリコ



都市に脈々と続く、 歴史・文化の物語は 可視化できたか？

「いま目の前にある都市の風景一つひとつが記憶の破片であり、歴史や文化そのもとだと言える。それらの記憶を紐解き、物語を紡ぎながら都市の風景を創造していく」。そんな思いをコミュニケーションのテーマに取り組んできました。地道な広報活動も、ボランティアで関わるやっとかめ大使の活躍も、「やっとかめ文化祭」が目指すところの一端を担えることができれば嬉しいのです。これからも、この文化祭の仕組みが世界の都市のお手本になることを願い、自らも日常に新しく楽しい街の風景を見つけられるように、暮らしていきたいと思っています。

広報・ボランティア運営
担当ディレクター
高橋佳介



街の歴史に、 まちなかで出会う。

歩いていると音がする。なんだろう、と思うと着物姿のイベント。よく見ると狂言だったり歌舞伎だったりお茶だったり・・・いままでにみたことのない、テレビでちらりと見たり、活字でみた伝統文化に出会う。そんなちょっとした偶然に出会えた人が、だんだん増えてきました。伝統文化とは、すなわち昔大衆文化として大人気だったもの。現在は自分が意識しないと出会えません。出会えば興味もてるかもしれない。そんな可能性を生み出す「芸どころまちなか披露」で新たな興味の縁がますます生まれますように…。

芸どころまちなか披露
担当ディレクター
西川千雅



文化祭の開催にあたり、ご支援ご協力をいただいた皆様に感謝申し上げます。
本当にありがとうございました。

やっとかめ文化祭実行委員会一同

主催/やっとかめ文化祭実行委員会

構成団体：名古屋市(文化振興室、観光推進室、歴史まちづくり推進室)、(公財)名古屋市文化振興事業団、(公財)名古屋観光コンベンションビューロー、中日新聞社、名古屋観光ブランド協会、特定非営利活動法人 大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワーク
後援：名古屋商工会議所、中部経済連合会、中部経済同友会 協力：名古屋三曲連盟、名古屋邦楽協会、名古屋日本舞踊協会(公社)能楽協会 名古屋支部、近畿日本鉄道株式会社、名古屋交通局、中部広域観光推進協議会、栄公園振興株式会社、名古屋芽生会
ディレクター：近藤マリコ、高橋佳介、西川千雅

辻狂言 ～まちのみんなで、大笑い～

10月31日(土)～11月23日(月・祝) (13プログラム53回)会場:大津通電気ビル ほか

名古屋は、狂言のまち。和泉流狂言の発祥の地です。
日本で一番古い喜劇に描かれるのは、今も昔も変わらない人間の姿。
その微笑ましく、愛おしい登場人物が、まちかどに飛び出しました。
名古屋のまちに、温かな笑いがあふれました。



オープニングステージ

10月30日(金) 会場:ナディアパーク2階アトリウム

文化祭のはじまりを告げる賑やかでおめでたいステージ。現代箏曲やお座敷芸などをはじめとして、会場全体で狂言を体験したり、正調名古屋甚句を唄ったりと、大いに盛り上がりました。



OPENING STAGE

ストリート歌舞伎 名古屋山三郎と出雲阿国

～歌舞伎発祥由来絵巻～

“歌舞伎の祖”と称されながらも謎に包まれた、名古屋山三郎を描いたロマン溢れる舞台。花笠や和太鼓などが使われ、華やかなステージとなりました。



街茶 MACHI-CHA

金工作家・長谷川竹次郎氏と若き仲間たちによる、まちなかでの茶会。白い布の囲いの心落ち着く空間で、名古屋の茶の湯文化にふれられる、2つのスタイルの茶会を開きました。



お座敷ライブ

高遠な料亭で、至れり尽くせりなおもてなしの中、人々を魅了してきた伝統芸能を味わいます。食事を楽しみながら目の前でされる至芸に、参加者は心奪われました。



香りと音で世界のまちを「旅」する

～志野流香道コラボコンサート～

志野流香道次期家元の紡ぐ香りが、臨場感あふれるヴァイオリンの音色と絡み合い、新しい感覚的な物語を作り上げました。



箏曲、長唄、常磐津、正調名古屋甚句、津軽三味線、落語、講談、お座敷芸 の公演を行いました



しゃちほこチャレンジプロジェクト

名妓連では習得が必須とされている「金のしゃちほこ」。お稽古を経て、その成果を大須ふれあい広場で披露しました。40人を超える華やかなしゃちほこに会場は大いに沸き立ちました。



SPECIAL PROJECT

10月31日(土)～11月23日(月・祝) <32講座39回>
会場:崇覚寺、宝善亭、志野流「松隠軒」ほか

まちなか寺子屋

縄文時代から近代まで、伝統芸能から工芸や食文化まで、幅広い講座や体験プログラムを開催。
まちを教科書に、ゆかりある場所を学校に、見て、ふれて、体験して、楽しく歴史・文化を学びました。



堀川を守る伝説の妖怪になろう！
く子ども狂言体験く



アーティストバー名古屋
く熱田から、日本をよみなおすく



職人の視点で
名古屋の近代建築を歩く



名古屋ごはんの美味しい食べ方指南



名古屋友禅でランチョンマットづくり



名古屋ジャズ史
く幻のツルレコードから戦後ジャズまでく



名古屋の喫茶店文化

芸どころ名古屋舞台

11月3日(火・祝)～11月20日(金) <5事業13公演>
会場:名古屋能楽堂、東山荘 ほか

名古屋のまちの懐の深さはこれを見ずして語れない、本格的舞台公演。
武家の人々に愛された能楽から、町人をトリコにした大衆芸能まで、色とりどりの舞台公演を行いました。



恋は神代の昔から



大正琴で聴く日本の音色



青のゆらぎLEDキャンドル能く



受け継がれる語りの世界



乱歩からの招待状



歴史まち歩き

10月31日(土)～11月23日(月・祝) 〈40コース・48回〉
会場:東海道鳴海宿、お屋敷まち白壁、星崎の里 ほか

何気なく点在する、寺社や町並、街道。まちには知られざるお宝がたくさん眠っています。
そのまちの一番のツウである地元ガイドさんに導かれて、40コースのまち探検に出かけました。



星崎の里



柳橋市場、円頓寺本町



南寺町西の大須



御用水黒川



東海道有松



南寺町東の大須



志段味古墳群と東谷山

旅人スタンプラリー

10月30日(金)～11月23日(月・祝) 〈全124箇所〉
会場:「芸どころまちなか披露」「歴史まち歩き」ほか全会場
「和菓子でめぐる尾張名所図会」の参加店舗

全部で160のプログラムは、あちこちでつながり、多様な旅の物語を紡ぎます。
今年ではすべての会場がスタンプポイントになっており、その旅をスタンプとして記憶しました。



和菓子でめぐる尾張名所図会

10月31日(土)～11月23日(月・祝) 〈全19店〉
会場:尾張菓子 きた川、覚王山 不老園 ほか

お茶処名古屋は、和菓子処でもあります。名古屋が誇る和菓子屋全19店舗にご参加いただき、江戸時代の観光ガイドブック「尾張名所図会」にちなみ上生菓子、干菓子、最中などを特別にあつっていただきました。参加者は和菓子を頬張りながら、「尾張名所図会」とともに、江戸時代の名古屋への旅を楽しみました。



【参加店舗(全19店)】 尾張菓子 きた川、覚王山 不老園、亀屋芳広、川口屋、御菓子司 川村屋、御菓子司 菊屋茂富、きよめ餅総本家、御菓子司 金廣堂、小ざくらや一清、三陽製菓、大黒屋本店、つくは祢屋、納屋橋饅頭万松庵、藤見屋、御菓子司 不老園正光、松河屋老舗、万年堂、美濃忠、両口屋は清八事店

